

いさーち

日立市教育研究所報 281号

平成29年 9月21日発行

〒317-8601 日立市助川町1-1-1

日立市教育研究所長 勝間田 忠彦

夏季教職員研修会を終えて

延べ1300人を超える先生方に御参加いただき、盛況のうちに夏季教職員研修会を終えることができました。今年も、限られた日数の中で、先生方のニーズに合った研修ができるようにしたいと考え、企画・運営をしてきました。

新学習指導要領の実施に向けた研修会としては、「授業力向上特別講演会（道徳）」と「教師力パワーアップ講座②（小学校外国語）」を開催しました。道徳では、元文部科学省教科調査官である赤堀博行先生を講師に迎え、これからの道徳教育で大切にしたいこと、授業改善の在り方、評価の在り方等について、日々授業実践をする担任の先生向けに講話をいただきました。また、「教師力パワーアップ講座（小学校外国語）」では、中央研修を受講した坂本小学校の綿引亜希子先生、古橋健太郎先生から、楽しみながら外国語に親しめるクイズやゲーム、絵本の活用の仕方などを、実際に体験を通して教えていただきました。

研修会後のアンケートからは、「すぐに活用できる内容であり、役立つことであった。」「2学期からの実践に生かしていきたい。」等、たくさんの参加者から参加してよかったという回答をいただきました。

研修会の時期や会場等については、できるだけ配慮して計画しましたが、参加された方々には御不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。

最後になりましたが、市内の園、小、中、特別支援学校、教育研究部関係の先生方、そして、御指導御助言を賜りました講師の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

番号	研修会名	参加人数
A 1	第2回初任者研修会	33
A 2	学級経営研修会	13
B 1	教育相談研修会	34
B 2	発達障害理解研修会	170
B 3	教師力パワーアップ講座① (算数)	32
B 4	教師力パワーアップ講座② (小学校外国語)	18
B 5	授業力向上特別講演会 (特別の教科道徳)	254
B 6	QU活用研修会	15
B 7	第2回不登校解消支援研修会	47
B 8	第2回教育研究論文研修会	9
C 1	教育講演会	荒天中止
C 2	情報交換会	63
C 3	一般教養研修会	80
C 4	教員セミナー	45
D 1	幼稚園・こども園 学級経営研修会	64
D 2	幼稚園・こども園 実技研修会	58
D 3	特別支援教育夏季合同研修会	199
D 4	子育て・教育講演会	154
D 5	博物館活用研修会	36
D 6	体育実技研修会 (陸上)	荒天中止
合 計		1324



参加された先生方の感想

【発達障害理解研修会】 テーマ 「発達障害の特性と支援の在り方」～特別支援教育10年～

講師 花輪 敏男（FR教育臨床研究所長）

○話がとても面白く、あきなかった。具体的な事例が多く、支援に必要なヒントや言葉のかけ方がとても分かりやすかった。



○振り分けるだけではだめなことを知れたことが一番の研修になった。「知らないと全く見えない」というお話から、まずは知ることが大事だと思った。もっと発達障害について学びたいと思う。

○教師の仕事の素晴らしさを改めて教えていただいた。自分を磨き、2学期から子どものために子どもの視点に立って働いていきたい。2学期がくるのが楽しみになった。

【一般教養研修会】 テーマ 「保護者対応に求められる心構えとスキル」

講師 細谷 幸裕（市進ホールディングス 能力開発部 能力開発室長）



○保護者対応に大切なことを再確認できた。人によって対応を変えることでストレスの減り方が違ってくことも認識することができた。

○コミュニケーションのスタイルが4つに分かれていて、自分のスタイルが分かり、それぞれのスタイルによってプラス面とマイナス面やかけられると嬉しい言葉などを教えていただけでよかった。クレームを「お困り事」と捉えると心が軽くなる気がする。当事者意識をもつことが大切だということに改めて気付くことができた。

【教師力パワーアップ講座（算数）】 テーマ 「子どもとともに創る算数」

～たのしく学ぶ算数の授業づくり～

講師 森本 明（福島大学 教授）



○ただ答えを出すだけではなく、子どもたちが自ら進んで考えたり、説明したり、表現しようとしたりする授業づくりが大切なのだと感じた。公式を覚え、活用の仕方を練習するのではなく、「なぜそうなるのか」を理解し、発見しようとする子どもたちを育てていきたい。

○“聞く”ということは何か、教えていく中で大切なことは何か、ということに改めて振り返る場となった。教えることに夢中になっていた自分、何が大切か忘れていた部分があった。“笑顔で解かせる”という部分が印象に残った。今回の講座はとても自分のためになった。

【不登校解消支援研修会】 テーマ 「不登校の解消に役立つ心理学的支援の理解と研修内容実践」

講師 野中 俊介（早稲田大学大学院 独立行政法人日本学術振興会特別研究員）

- 教育の現場だけでなく、様々な機関で有効とされている心理的療法を知ることができ、とても参考になった。効果的な働きかけは、一義的に決まらず、結果によって決まるということを知り、自己で考え行動しなければいけないことが分かり、指導力向上の参考にした。
- ストレスマネジメント教育の具体的な仕方を提案いただき、これからの指導に役立つものであった。保護者へのサポートとして、どう関わるかについても有意義な視点を示していただいた。



【授業力向上特別講演会（特別の教科道徳）】

テーマ 「道徳科の実施に向けて授業改善と評価の在り方」

講師 赤堀 博行（帝京大学 教授）

- 今後、どう「道徳科」をとらえていくか、方向性がよく分かった。人として、物事をどう見てとらえていくか、自己をみつめていくことも大切だと思った。
- 道徳授業の在り方、作り方を具体的に理解することができた。また評価の観点や表現の仕方もよく分かった。自分事として考える工夫の必要性や価値の押し付けにならないようにすること等も具体例からよく理解できた。
- 来年度から試行期間となる「特別の教科 道徳」を取り上げてくれたことはとてもよかった。講師の先生も第一線で活躍されている方で話が分かりやすく、これからの指導の不安が少し解消された。



【子育て・教育講演会】

テーマ 「発達障害傾向のある子どもの育て方、保育の進め方の具体的なポイント」
～具体的な対応がわかる 気になる子の保育～

講師 徳田 克己（筑波大学医学医療系教授）

- 発達障害の子どもへの声のかけ方、支援の方法が具体的にとても分かりやすくイメージしやすかった。行動の理由が分かり、今後の保育で活かしていきたい。（教員）
- 発達障害の子の目線での見え方や保育の中での困惑について学ぶことができた。何気ない一言がその子にとってどのように心に響くのか考えるよい機会になった。（教員）
- 3才から小3までの子育ての在り方が大切と聞いて、改めて子どもと関わることの重要さと子どもの勉強不足の怖さを知った。子どもと関わる上で小さな頃はほめることも多かったが、大きくなるにつれて叱ることの方が増えていたように感じ反省している。適切に対応することは大切でしっかり学んで接していきたいと思った。（保護者）





第2回初任者研修会「日立の名所めぐり」



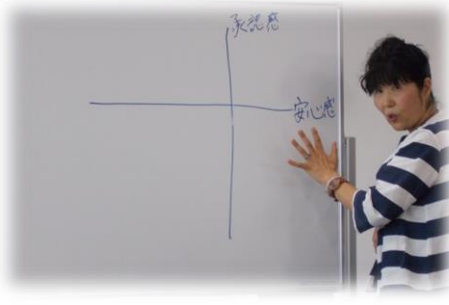
教師力パワーアップ講座(外国語)



情報交換会



幼稚園・こども園 実技研修 「音楽」



QU活用研修会



教員セミナー(WISCⅢ実技研修)

幼児教育と小学校教育の 接続のための研修会を行いました



9月8日に茨城県教育委員会 就学前教育・家庭教育推進室の齋藤崇先生と茨城県幼児教育指導員の小林久仁子先生を講師に招き、幼児教育と小学校教育の円滑な接続推進のための研修会を行いました。市内の私立を含む幼児施設の園長や小学校長等66人が参加しました。

「就学前教育と小学校教育のカリキュラムについて」の講話を頂いた後、地域ごとの園や学校でグループ協議を行いました。

参加者からは、「近隣の保・幼・小の先生方と顔を合わせ話ができ、これからの連携をとっていききっかけとなり、成果であったと思います。齋藤先生、小林先生の講話も学ぶところが多くありました。」等の感想がありました。

今後も、幼児教育と小学校教育が連携していくことでさらに滑らかな接続ができるよう推進していきたいと思ひます。



編集後記

2学期になり、園や学校にまた子どもたちの元気な声が戻ってきました。夏休みには、教育研究所の研修会に多数御参加いただき、ありがとうございました。そこで得られたパワーを子どもたちに還元していただき、更に充実した園・学校生活になることを願っております。(中村)